septate with 4-6μ interval, free secondary spores not observed. Stalk composed of hyphal tissue, stuffed, 4-5 mm long, without special peridial layer.

タイプに基く私の観察結果は上記の通りで別に問題はない。種名の由来など，子実体の色についての原記載の部分をここに添えて置く。

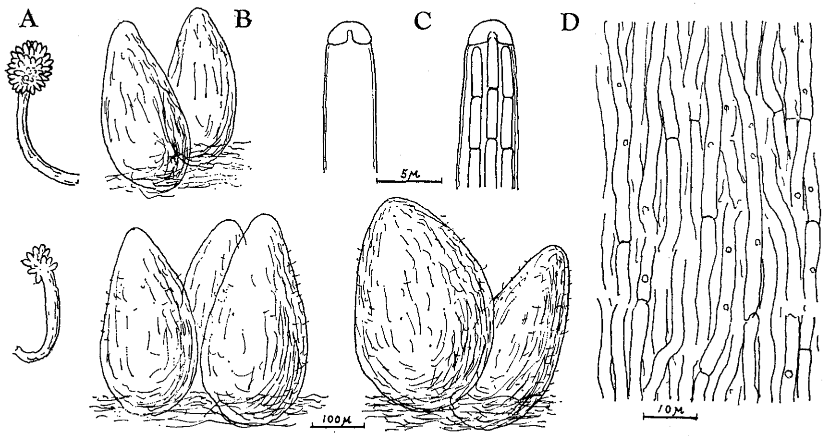


Fig. 7. *Cordyceps translucens.* A. Stromata ×3. B. Perithecia. C. Upper part of asci. D. Inner tissue of stalk.

"When fresh the clava is hyaline and translucent with the central portion of the stalk and the contents of the perithecia is appearing white and opaque".

□笠原安夫・武田満子: **岡山県津島遺跡の出土種実の種類同定の研究** 農学研究 58 (3-4): 117-179. 1979. こんな小さな論文を抄録することは不思議と思われる方もあろう。本著の大部分は岡山県津島の3回にわたる調査で，多くの種実が記載されているが，まとめとして熊本から埼玉に及ぶ 14 個所のデータを比較し，水稲田跡から発掘した種実を比較することによつて，欧州との共通種47の内，25 は近来の渡来だが，22 は史前帰化植物とわかったこと，及び中国中南部 37，より北方に 27，朝鮮で 21 が南，42 が北に拡がっている。この中国，朝鮮南北と比較すると，たとえば中国南部のタカサブロウ，コゴメガヤがあるのに朝鮮にはない。これらのことから，米の渡来は淮河以南から北九州へ，或は南鮮，又は済州島を経た間接渡来と認めた点にある。附載のプレートは比較のために便利である。 (前川文夫)